

## 平成20年度 事業報告

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

### I. ビジネス拡大支援事業

#### 1. 企業PR支援

##### (1) 中国地域ニュービジネス大賞表彰事業

中国地域におけるニュービジネスの健全な育成と振興を図るため、独創的かつ市場性のあるニュービジネスを展開している企業・経営者等に「第16回中国地域ニュービジネス大賞」等の表彰を実施しました。

大賞	(株)ミスモ加工	(岡山県倉敷市)
優秀賞	エス・エス・アロイ(株) (株)ネットワーク応用通信研究所 (株)バルコス	(広島県東広島市) (島根県松江市) (鳥取県倉吉市)
特別賞	アイクリーテクノワールド(株) (SGエンジニアリング(株)) (株)エル・アイ・ビー (株)スピングルカンパニー 日進ゴム(株) (株)めのや	(広島県広島市) (島根県浜田市) (広島県府中市) (岡山県岡山市) (島根県松江市)

#### 2. 販路・取引先開拓支援

##### (1) 販路支援事業 (Win-Win2008)

地産地消の実現および地域経済の発展を目的として、製造業者と小売・流通業者との個別商談会 Win-Win2008を実施し、主に食品・生活雑貨関連商品等を扱うセラー企業様(会員・非会員)とバイヤー企業様に個別商談会の機会を提供し、販路拡大の支援を図りました。

##### 【実施概要】

開催日	9月4日	場所	広島県立広島産業会館
参加バイヤー企業	26社※(スーパー、ホームセンター、ドラッグストア等)		
参加セラー企業	96社(食品・生活雑貨関連企業)		
個別商談件数	400件		
商談結果(成約見込み)	78件(19.5%) [バイヤー回答]		

※参加セラー企業様(五十音順、敬称略):イオンリテール(株)、(株)イズミ、(株)イトーヨーカ堂、伊藤忠食品(株)、(株)ぐるなび、(株)サンリブ、(株)ジュンテンドー、生活協同組合連合会コープ中国四国事業連合、生活協同組合ひろしま、(株)ダイエースペースクリエイト、(株)天満屋ストア、企業組合東京セールスレップ、(株)東急ハンズ、(株)ナンバ、(株)仁科百貨店、(株)日本アクセス、(株)ハローズ、(株)ププレひまわり、(株)フレスタ、マックスバリュ西日本(株)(マックスバリュ西日本およびザビッグ)、(株)マルアイ、三井食品(株)、(株)モリヤマ、ヤフー(株)、(株)ユアーズ、(株)菱食

#### 3. 調査研究

##### (1) ニュービジネス研究会

会員様からの自社事業の範囲を超えた新しい取組みや課題解決を指向した提案を受け、共に取り組む意欲のある企業を募り、研究会を実施しました(実施件数:1件)。

【テーマ】「地域資源を活用したビジネスモデル研究会」

【趣 旨】「岡山」と「地域資源」の2つをキーワードに、隠れた地域産業の可能性を見出し、新たな事業やビジネスモデルを検討する。

また、本研究会参加者（研究員）には、研究を通じ多くの情報・知識を習得し、地域や自社のさらなる発展につなげていただくことも目指す。

【活動期間】平成20年7月～平成21年3月

【活動の概要】

	日程	場 所	テーマ	概 要
第1回	7/28	メルパルク岡山	クローズアップ地域資源！	(有)SOHO総研 代表取締役 牛来千鶴氏による講演
第2回	10/16	〃	岡山の地域資源の発掘	NBC職員による研究報告
第3回	1/13	倉敷商工会議所	イグサ スタディ・ツアー	下庄のイグサ田の見学
第4回	3/12	ホテル倉敷	研究結果総括	アイデアとりまとめ

【主な成果】岡山県の伝統的な産業のひとつであるイグサ産業の実態や今後の可能性等について検討を行いました。新しいビジネスモデルの構築までには至らなかったものの、研究員の知見を深めると共に、産官学からのメンバー構成による研究会としたことで、人的ネットワークを確立しました。

## II. 経営改革支援

### 1. 人材・リクルート支援

#### (1) 若者と中小企業とのネットワーク構築事業

就職活動における学生の意識が大手企業からより身近な企業へという意識が強くなる傾向にあり、優秀な若手社員を求める中小企業にとっては追い風が吹くなか、当協議会は企業と学生の双方向アプローチができるネットワークの構築、企業の魅力発信のサポートなどの環境整備を行いました。

【主な施策と実績】

施 策	実 績	(参考：昨年度実績)
学生向け企業PR冊子作成	掲載企業数 53社	32社
企業プレゼン会 (企業が大学にてプレゼン・相談会を実施)	実施大学数 7校	4校
企業の魅力体験ツアー (学生による企業訪問)	実施大学数 2校	3校
人材獲得と育成のためのセミナー (企業向け)	実施回数 3回 (計149名)	2回 (計98名)

#### (2) 高度実践留学生育成事業 (アジア人財資金構想事業)

中国地域の産業を支える中堅・中小企業の国際競争力強化支援の一環として、日本企業・日系企業へ就職意志を持つ能力・意欲の高いアジア等からの留学生を対象に、日本語研修から就職支援までの一連の事業を実施して産業界で活躍する専門イノベーション人材の育成を図り、これら留学生の日本企業・日系企業への就職を組織的かつ継続的に支援するシステムの構築を昨年度に引き続き

図りました。

【活動の概要】

日程	場 所	講義内容	参加人数
8/7・8	島根大学	日本ビジネス教育	8名
9/25・26	山口大学	日本ビジネス教育	7名
11/13	山口大学	フォロー研修	3名
成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職活動や就職後に必要な知識やノウハウを新たに蓄積</li> <li>・既実施地域の研修補完カリキュラムの構築</li> </ul>		
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方（遠隔地）にいる優秀な留学生の支援策の検討が必要（ITを活用した研修・就職支援のあり方を検討）</li> </ul>		

## 2. 中小企業支援

### (1) 地域力連携拠点事業

今まで弊協議会が行ってきた活動及びその経験、更に構築してきた企業・機関・人のネットワークを活用し、今まで以上に地域の企業様へのサポートを「企業の元気は地域の元気」の基本の考え方のもと、今一步も二歩も推進できる体制を構築しました。

業 務	主な実施結果
相談業務	企業からの相談に対して、応援コーディネーターが課題解決に必要なポイントの絞り込みを行い、専門家派遣や他支援機関の施策への推薦等、他支援機関とも連携を図りながら、相談内容に応じた支援を実施しました。事業実施後の相談延べ取扱件数は173件（先数は159先）、そのうち63件（先数は49先）について応援コーディネーターによる知的資産経営支援・販路開拓支援等、具体的支援を行いました。
専門家派遣業務	相談内容に応じ、応援コーディネーターを中心に、中国NBC単独支援だけでなく他の施策の活用や他の支援機関との連携を図った専門家派遣を実施しました。取扱件数11件（先数は5先）について専門家派遣を実施し、知的資産経営支援・販路開拓支援等、具体的支援を行いました。
情報提供業務	中国NBCのHPによる本事業広報や関連する情報の提供を行いました。又、局、各行政（県・市等）・中小機構・産業振興機構等の機関や商工会議所にも依頼し、各HPで本事業の広報や関連する情報の提供を行いました。
調査研究業務	経営・販路支援委員会による販路支援施策の計画・運営を行い、支援企業に対して相談内容に応じた販路支援を実施しました。

## 3. 情報化支援

### (1) 企業情報化支援事業（IT経営応援隊CIO育成事業）

経営戦略を実現するための新しいビジネスモデルや業務ルールの策定およびIT活用を円滑に推進するためのプロセスを理解することを目的に、経営者・情報担当者を対象としたセミナーを実施しました。

【活動の概要】

日程	場 所	テーマ

10/18	ビューポート呉	「経営課題の抽出および経営環境・事業ドメイン・重要成功要因の分析」
11/ 1	〃	「経営課題を具体化するためのIT化テーマの検討」
11/24	〃	「自社の企画書発表とIT化を実現する新ビジネスプロセスの検討」
11/29	〃	「成果発表とIT化推進のポイント」

## (2) 企業情報化支援事業（IT経営応援隊サービス業のイノベーション・生産性向上事業）

中国地域のサービス業におけるIT利活用の支援・促進のため、ITコーディネータをはじめとするコーディネートグループを組織し、サービス事業者への指導事業を実施しました。

また、ITを活用したサービス産業のイノベーションによる新たなビジネスの創出、およびサービス現場における生産性の向上に向けたセミナーを開催しました。

### 【活動の概要】

施策	日程	場所	対象企業・テーマ
指導事業	11～1月	—	広島県内の企業2社
セミナー	2/23	サンラポーむらくも	観光業向けIT経営セミナー
	3/13	八丁堀シャンテ	物流業向けIT経営セミナー

## 4. 情報提供

### (1) ツールを活用した情報発信

#### ① メールでの情報発信

個別の会員様から受けたPR情報等を、全ての会員様へメールにより情報提供しました（計170回、「インフォメーション（当協議会からの告知等）」・「かいらんばん※（会員様から要望を受けたPR情報等）」）。

※20年度までは、当協議会からの告知は「インフォメーション」、会員様から要望を受けたPR情報等は「かいらんばん」としておりましたが、21年度から統一しました。

#### ② ホームページによる情報発信

会員様に役立つ様々な情報を、随時掲載しました。

### (2) 講演会・セミナー等の開催（広島支部行事と併催）

講演会・セミナーを開催することにより、参加企業様の認識、意欲向上を図りました。

場所	日程	場所	テーマ等
広島	3/30	ANAクラウンプラザホテル広島	『世界同時不況は怖くない』～ガンバレ！中国地域～ <b>■講師：</b> （社）日本ニュービジネス協議会連合会特別顧問、日本生命保険相互会社特別顧問 北畑隆生 氏 <b>■参加者数：</b> 講演会297名、交流会：78名

## Ⅲ. ネットワーク拡大支援

### 1. 会員交流

#### (1) 支部拡大・交流事業

各支部での会員交流および会員数の増加を図るため、セミナー等を開催しました。

支部	日程	場所	テーマ等
----	----	----	------

支部	日程	場所	テーマ等
鳥取	1/19	ホテルニューオータニ鳥取	『2009年 新春セミナー・交流会』 <b>■演題</b> 「ビジネスチャンスは目の前にある —地域発、21世紀、飛躍への道—」 <b>■講師</b> ：(株)モルテン 代表取締役社長 民秋史也 氏 <b>■参加者数</b> ：セミナー112名、交流会43名
島根	2/20	松江東急イン	『新春セミナー 関 幸子さんを迎えて』 <b>■演題</b> 「地域こそ世界への近道」 —島根にはチャンスがいっぱい！— <b>■講師</b> ：NPO法人 地域産業おこしに燃える人の会 幹事長 秋葉原タウンマネジメント(株)、専務取締役 関 幸子 氏 <b>■参加者数</b> ：セミナー81名、懇親会33名
広島	3/30	ANAクラウン プラザホテル 広島	『世界同時不況は怖くない』～ガンバレ！中国地域～ <b>■講師</b> ：(社)日本ニュービジネス協議会連合会特別顧問、 日本生命保険相互会社特別顧問 北畑隆生 氏 <b>■参加者数</b> ：講演会297名、交流会：78名

## (2) 女性部会活動

女性部会活動の支援を目的に、女性部会独自の活動や支部との合同イベントを実施しました。鳥取、島根支部については、女性部会が中心となり、支部行事として講演会を開催したほか、岡山、広島、山口支部については、独自に下記のとおり開催しました。

### ■岡山支部女性部会

4/22	テーマ	「総会」	参加者数	11名
	場所	岡山県生涯学習センター		
	概要	20年度計画の策定		
5/27	テーマ	「好感度アップ↑で、ビジネスが変わる！販路拡大セミナー」	参加者数	23名
	場所	ラヴィール岡山		
	概要	～決め手は、お客様を惹き付けるパーソナルカラーと眉！～ 講師：(有)チアーズ 代表取締役 山根 理絵氏		
6/11	テーマ	「一目でわかる！企画書の書き方」	参加者数	15名
	場所	岡山県生涯学習センター		
	概要	講師：(株)アルマ経営研究所 代表取締役 額田 信一氏		
7/9	テーマ	「企業のビジネスブログ徹底活用セミナー」	参加者数	14名
	場所	岡山県生涯学習センター		
	概要	～賢く使ってチャンス創出！～ 講師：(株)スクリーンネットワーク 取締役 佐藤 千津子氏		
9/11	テーマ	「中国NBC会員限定！聞いて差がつく！マスコミとの上手な付き合い方セミナー」	参加者数	18名
	場所	山陽新聞社		
	概要	講師：山陽新聞社 経済部 副部長 小松原 竜司氏		
9/26	テーマ	「一目でわかる！企画書の作り方～続編～」	参加者数	13名
	場所	岡山県生涯学習センター		
	概要	講師：(株)アルマ経営研究所 代表取締役 額田 信一氏		
10/8	テーマ	「岡山支部女性部会 交流サロン」	参加者数	15名

	場 所	岡山県天神山文化プラザ		
	概 要	～皆様の更なるステップアップを目指して！～ 講師：(株) アルマ経営研究所 代表取締役 額田 信一氏		
10/24 ～25	テーマ	「スタディツアー in 九州」	参加者数	1名
	場 所	■訪問先 再春館製薬所(株) (熊本県) ■宿泊先 黒川温泉「夢龍胆 (ゆめりんどう)」		
	概 要	再春館製薬所見学		
11/12	テーマ	「沢山の人に会える・話を聞ける・意見をもらえる！」	参加者数	19名
	場 所	岡山シティホテル桑田町		
	概 要	交流会・意見交換		
1/21	テーマ	「心地よいコミュニケーションとは」	参加者数	17名
	場 所	岡山県天神山文化プラザ		
	概 要	～優しい風を送る日常の心がけ～ 講 師：岡山アナウンススクール 主宰 森田 恵子氏		
3/10	テーマ	「中国NBC 岡山支部 女性部会」	参加者数	8名
	場 所	内藤屋敷		
	概 要	～暫し現実を忘れ“癒される♪” 来期に向けたパワーミーティング～		

#### 【主な成果】

- ・参加の募集対象を女性部会に限らず、岡山の会員様に広く企画募集しました。このことにより、参加者数増につながり、「人をつなぐ」ことに貢献できました。

#### ■広島支部女性部会

##### ○ビジネス交流カフェ

4/14	テーマ	『社内環境』	場所	ひろしま 国際ホテル	参加者数	22名
	概 要	『会社は人なり ～女性は意気に感ずると能力を発揮する！！～』 ■講 師 (株)文華堂 代表取締役 伊東由美子 氏 ■企画・運営 (株)古昌商店 代表取締役 古本由美氏 (株)文華堂 代表取締役 伊東由美子氏				
	成果等	有能な社員を社内環境を整えることによって失うことなく、安心して産休・育休に入ってもらえる。また、補助金または助成金などある事を知り、受講者の会社でも申請を考えるとところもあった。				
6/19	テーマ	『カラーコーディネート』	場所	ひろしま 国際ホテル	参加者数	21名
	概 要	『色彩がもたらす貴女のビジネスチャンス』 ■講 師 カラースタジオ IRIS カラーアナリスト 児玉 紀子氏				
	成果等	お化粧品、服装の色によって相手の接し方も変わる。色あいを良く考えてビジネスチャンスをつかむこと				
7/17	テーマ	『営業』	場所	ひろしま 国際ホテル	参加者数	18名

	概要	『営業が3倍働く会社にしよう！』 ■進行役 フラウツー 代表 阿須賀 芳恵氏 丸栄(株) 代表取締役社長 立木 陽子氏				
	成果等	営業現場たたき上げの世界からの経営陣へのよきアドバイス				
8/21	テーマ	『ビジネスPR』	場所	広島県立 産業会館	参加者数	46名
	概要	中国NBC会員企業による『食のプチフォーラム』 ■進行役 (株)ティーエスピー 代表取締役 多田 多延子氏				
	成果等	「食」に対する関心度が高い割に、あまり知られていないものもあった。 新たな広島土産となるよう支援していく				
9/18	テーマ	『売掛金回収』	場所	ひろしま 国際ホテル	参加者数	13名
	概要	『～女性行政書士は知っている～ 樫さんから見た 売掛金回収のコツ』 ■進行役 ゆずりは行政書士事務所 代表 樫 佳子氏 にしともこ社会保険労務士事務所 代表 西 朋子氏				
	成果等	常日頃から取引先とは契約書をかわし、馴れ合いの仕事はしないこと				
11/20	テーマ	『親業』	場所	ひろしま国 際ホテル	参加者数	16名
	概要	『従業員（なかま）の“心の声”聴けてますか？』 ■進行役 広島管財(株) 代表取締役社長 川妻 利絵氏 Be Happy 代表 三上 弘恵氏				
	成果等	テーマ的に親子関係の話に思われがちだが、ビジネスに取り入れれば社員とのコミュニケーションが取れるようになる				
12/18	テーマ	『広島の元気再生』	場所	広島市西区	参加者数	11名
	概要	『“創造的事業拠点”「SO@R」社会実験会場 見学会』 ◆進行役 有限会社SOHO総研 代表取締役 牛来 千鶴氏				
	成果等	夢を夢だと諦めず、人とのコミュニケーションを大切にしながら実現させる				

○スタディツアー in 九州

10/24 ～25	テーマ	“ドモホルンリンクル”の再春館製薬所見学会			参加者数	11名
	概要	■訪問先 再春館製薬所(株) (熊本県) ■宿泊先 黒川温泉「夢龍胆(ゆめりんどう)」				
	成果等	他支部の女性部会のメンバーとの交流の中で、経営者または幹部の方々ならではの悩みを打ち明けたり、アドバイスを受けたりと、人とのネットワークづくりに繋がった				

○例会 (於：当協議会会議室)

2/18	テーマ	『平成20年度活動報告&21年度活動計画』			参加者数	9名
	概要	20年度活動は参加者数が小規模。21年度は「一流に学ぶ」をテーマ				
3/19	テーマ	『平成21年度活動計画の策定』			参加者数	8名
	概要	具体的な計画の策定				

■山口支部女性部会

6/7	テーマ	平成20年度事業計画	参加者数	9名
	場所	大内ビル7階		
	概要	20年度計画の策定		
7/17	テーマ	「ビジネスコミュニケーションに役立つ“知っておきたい”ブログ&SNSの活用術！」	参加者数	17名
	場所	(独)雇用・能力開発機構 山口センター		
	概要	1. メーリングリスト活用術 ～中国NBC岡山支部女性部会の事例～ 講師：(社)中国地域ニュービジネス協議会 事務局 2. ブログ活用術 ～山口発、ママさん社労士が綴る日々の出会い、日々の思い～ 講師：(株)ブレインスクエア 代表取締役 宇佐美 理世 氏 3. 社内SNS活用術 ～使い方の基礎知識から結構楽しめる活用方法までを わかりやすくご紹介～ 講師：(株)トリニティ 代表取締役社長 世良 弥和子 氏		
9/18	テーマ	「企業イメージがグッとアップする！電話対応強化セミナー」	参加者数	24名
	場所	防府市地域協働支援センター		
	概要	講師：(株)ケイ・アンド・ワイ 人材育成部門 主任講師 温品 富美子 氏		
11/20	テーマ	「命の座禅研修」	参加者数	6名
	場所	洞海寺(山口市上小鯖)		
	概要	～新たな年・将来に向け、自分を見つめ直す・・・～ 講師：洞海寺 住職 伊藤 良仁(りょうにん)氏		
12/22	テーマ	「ミニ起業家110番」	参加者数	8名
	場所	デザインプラザHOFU		
	概要	～沢山お話して、会員同士コミュニケーションしましょう♪～		
3/12	テーマ	「ディスカッション」	参加者数	5名
	場所	カリエンテ山口		
	概要	～規律と活気のある社内環境づくり～ 今年度の反省・新年度事業の検討		

【主な成果】

- ・会員様の要望をとりまとめ開催しました。
- ・会員様ご自身が講師を務めたことで、自社PRおよび自らが知りたい他社の取り組みを直接知ることができました。

2. 連携促進

(1) JNB・各NBCとの連携活動

JNBを通じ各地協議会および会員企業との交流・連携・情報収集しました。

(2) 内外関係機関との交流および協力

会員様が抱える課題解決のため、中小機構・各県・各種支援機関・地域金融機関等との連携を図り、会員支援実施しました。



### 3. 異業種交流

#### (1) 広域・異業種交流事業（5：01クラブ）

平成15年に開始した、アフターファイブに気楽に集まり、人脈づくりや連携強化に役立っていた事業です。幹事会社のご協力を得て6回開催しました。

##### 【開催実績】

日 程	幹事会社様	場 所	参加人数
5/30	広島ガス㈱	ガストピアセンター	155名
9/18	J A広島中央会	J Aビル 10階	191名
10/21	㈱広島銀行	広島銀行ハイビル21 17階	175名
11/19	㈱中電工	平和大通り電気ビル 20階	187名
2/17	広島工業大学	広島工業大学 広島校舎	180名
3/25	㈱テレビ新広島	テレビ新広島 新館	160名
計	—	—	1,048名

##### 【主な成果】

1,000名を超える参加者の人脈づくりに貢献しました。また、幹事会社様も開始前にセミナーを開催するなど、本事業の集客力を活用しています。

## IV. 新事業創出支援

### 1. 研究開発・事業化支援

#### 【産業クラスター事業】

#### (1) ネットワーク形成事業

産官学連携を通じて、中国地域に对外競争力のある企業群（クラスター）を創出することを目的に活動しました。

「拠点連絡会議」	日 程	2月18日
	場 所	ホテルセンチュリー21
	出席者	経済産業局8名、推進組織7名、拠点組織9名、他2名
産業クラスターフォーラム	日 程	1月29日
	場 所	八丁堀シャンテ
	出席者	委員9名、事務局4名、クラスターマネージャー3名
他地域との連携 「地域イノベーション2008」 への参加	日 程	7月17日
	場 所	海峡メッセ下関

#### (2) 新事業創出支援事業

##### ① コーディネーター活動（コア技術把握およびコーディネートのための企業・大学訪問）

コーディネーター活動のマッチングや販路開拓実績および企業情報に精通しているといった強み等を活かし、各プロジェクトにおける企業間、産学官等のブリッジングを実施し、効果的な新事業創出を図るため、次世代中核産業分野、循環・環境分野に係る企業、大学、商社等のニーズを把握するための情報収集およびプロジェクト立ち上げに係る検討やプロジェクトのリーダーとなるコア企業、大学の発掘および過去に発掘した企業等の掘り下げを行いました。

② 推進組織コーディネーター連絡会議の開催

合同コーディネーター会議	実施回数	1回 (2/18)
	場 所	ホテルセンチュリー21
	概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成21年度計画策定・「全国イノベーション推進機関ネットワーク」の設立について</li> <li>・産総研の地域連携活動について</li> <li>・イノベーション創出共同体形成事業について</li> </ul>
次世代分野コーディネーター連絡会議	実施回数	6回
	場 所	中国経済産業局
	概 要	打合せ形式で開催
循環・環境分野コーディネーター会議	実施回数	11回
	場 所	中国経済産業局
	概 要	定例会議形式で開催

③ 専門家派遣

鳥取県内の企業様からの要請を受け専門家を派遣し、工程管理一般・作業管理の理論と実際および改善推進の取り組み手法を指導しました。

④ 建築物自動検査ロボット市場調査

参加企業から目指すべき研究開発の方向性を明確化することが必要というニーズを踏まえ、新たに市場調査を実施しました。高所等の現場に対応するロボットの開発を進めるにあたり、参加企業の開発製品化をスムーズに事業化に繋げることを目指し、開発した検査ロボットを投入する市場の状況を調査しました。

(3) ネットワーク自立化支援事業

① コーディネーターによる自立化可能性調査

コア企業を中心とした企業ニーズ等の収集・把握を行い、スムーズに研究会等を受益者負担などで運営が可能となる事業に移行させるため、企業訪問時に自立化へ向けたヒアリング（受益者負担等を踏まえた事業への要望等）を実施しました。

(4) 連携促進事業

① 研究交流会等の実施および支援（11回）

「技術シーズと企業ニーズのマッチング」のためテーマの抽出を行い、企業と大学・研究機関等との実務者同士およびコーディネーター同士の研究交流会を開催しました。

また、推進機関単独の研究交流会だけでなく、地域内で拠点機関等と連携した研究交流会や他地域との連携を図った研究交流会を実施しました。

自動車研究交流会	日程	7月17日	参加人数	80名
	場所	国際貿易ビル		

自動車研究交流会	概要	<p>1. 講演</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「ITSの現状と今後の動向について」 インターネットITS協議会 事務局長 時津 直樹 氏</li> <li>■ 「新世代電気自動車 (I MiEV) の開発」 三菱自動車工業(株) 開発本部MiEV商品開発 P J プロジェクトマネージャー 和田憲一郎 氏</li> </ul> <p>2. パネルディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットITS協議会 事務局長 時津直樹 氏</li> <li>三菱自動車工業(株)開発本部MiEV商品開発 P J プロジェクトマネージャー 和田憲一郎 氏</li> <li>(財)北九州産業学術推進機構 カーエレクトロニクスセンター長 吉川 実 氏</li> <li>(財)ひろしま産業振興機構カーエレクトロニクス 推進センター長 岩城富士大 氏</li> <li>(社)中国地域ニュービジネス協議会 コーディネーター 清田憲一</li> </ul>		
航空機材関連企業 見学交流会	日程	9月19日	参加人数	23名
	場所	三菱重工業株 下関造船所		
	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業概要の説明 三菱重工業(株)下関造船所機械部複合材課長 外山幸文 氏</li> <li>■ 複合材工場見学</li> <li>■ 取組事例の紹介 認証取得および品質保証の取り組み 三菱重工業(株)下関造船所機械部複合材課長 外山幸文 氏</li> </ul>		
難加工研究交流会	日程	11月27日	参加人数	66名
	場所	ホテルJALシティ広島		
	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 基調講演 「グローバル化に向けた輸送機器産業の生産革新」 トヨタ自動車(株) 第一要素正技部室長 森下弘一 氏</li> <li>■ 講演 「難削材の加工戦略と加工事例」 広島大学大学院工学研究科長 山根八洲男 氏</li> <li>「高熱・電気伝導性を有するアルミニウム基複合材料の開発」 広島大学大学院工学研究科教授 佐々木 元 氏</li> <li>「アルミニウム、マグネシウム、チタン板の成形技術」 広島大学大学院工学研究科教授 吉田総仁 氏</li> <li>■ まとめ (社)中国地域ニュービジネス協議会 コーディネーター 清田 憲一</li> </ul>		
プラズマ研究 交流会	日程	11月28日	参加人数	78名
	場所	広島グランドインテリジェントホテル		
	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ イントロダクション 「プラズマ制御の重要性」 東北大学名誉教授 佐藤徳芳 氏</li> <li>■ 講演 「個体高分子燃料電池の特徴 —プラズマからの考察—」 名古屋大学名誉教授 (核融合科学研究所名誉教授) 池上英雄 氏</li> <li>「大気圧反応性プラズマによる水素生成と燃料電池」 東京工業大学大学院理工学研究科特任准教授 野崎智洋 氏</li> </ul>		

プラズマ研究 交流会		「太陽電池」 大阪大学大学院 基礎工学科特任教授 松田彰久 氏 「アモルファス/微結晶シリコンタンデム電池の開発」 三菱重工業(株)長崎造船所技師長 高塚 汎 氏 「大面積超高周波プラズマ特製」 九州大学大学院総合理工学研究院特任教授 名誉教授 河合良信 氏		
九州との連携 交流会	日程	1 1月 2 5日	参加人数	3 0名
	場所	アイシン九州(株)		
	概要	■ケーススタディ 日本政策投資銀行 井上調査役 ■ケーススタディ講義 日本政策投資銀行東海支店次長 島 裕 氏 ■アイシン九州(株)の概要説明 アイシン九州(株) 小田営業部長 ■工場見学		
新技術活用研究 交流会	日程	2月 5日	参加人数	1 0 1名
	場所	ホテルセンチュリー 2 1 広島		
	概要	■特別講演 「地域産業に期待する金属ガラス」 東北大学総長 井上 明久 氏 ■講演 「金属ガラスと産学連携による技術開発の最適化」 大阪府立大学大学院教授 東 健司 氏		
航空機材研究会	日程	2月 2 5日	参加人数	1 6名
	場所	三菱重工業(株)名古屋航空宇宙システム製作所		
	概要	■三菱重工業(株)名古屋航空宇宙システム製作所の概要説明 三菱重工業(株)名古屋航空宇宙システム製作所 石井主任 ■大江工場見学		
航空機関連工場見 学会	日程	3月 6日	参加人数	2 2名
	場所	(株) I H I 呉第 2 工場		
	概要	■ I H I 呉第 2 工場の概要説明 (株) I H I 呉第 2 工場 夏明部長 ■工場見学		
ちゅうごく自動車 クラスターフォー ラム	日程	3月 2 6日	参加人数	9 4名
	場所	広島県情報プラザ		
	概要	■講演 「マツダ モノ造り革新」 マツダ(株)商品企画本部主査 竹下仁氏 氏 「パラダイム・シフトする自動車とオートモーティブサイエンス」 九州大学大学院経済学研究院教授 塩次喜代明 氏 ■情報提供 「中国経済産業局の平成 2 0 年度自動車関連調査等」 中国経済産業局地域経済部参事官 片山雅夫 氏 「戦略的産業活力活性化研究会の活動」 (財)ひろしま産業振興機構 岩城センター長 「岡山県次世代自動車関連技術研究会の活動」		

		(財)岡山県産業振興財団技術支援部 今井コーディネーター		
工作機械研究 交流会	日程	3月23日	参加人数	22名
	場所	(株)シギヤ精機製作所本社		
	概要	<b>■会社概要の説明</b> (株)シギヤ精機製作所代表取締役社長 嶋谷憲和 氏 <b>■設備技術紹介</b> (株)シギヤ精機製作所 村上和史 氏 <b>■工場見学</b>		
水素研究交流会	日程	7月17日	参加人数	50名
	場所	海峡メッセ下関		
	概要	<b>■講演</b> 「定置用燃料電池の本格普及に向けて」 東芝燃料電池システム(株) 担当部長 伊東洋三 氏 <b>■事例発表</b> 「福岡水素戦略」 福岡県商工部新産業・技術振興課企画主幹 田代裕靖 氏 <b>■パネルディスカッション</b> 東芝燃料電池システム(株)担当部長 伊東洋三氏 山口県環境生活部環境政策課主任 洲村弘志 氏 山口県産業技術センター材料技術部専門研究員 前 英雄 氏 (コーディネーター)山口県産業技術センター所長 山田隆裕氏		

## ② ビジネスプロモート研究会の実施

具体的なプロジェクトを意識した提案テーマに対して、キーパーソン（企業・大学等）を核として事業化・実用化を目的とした調査研究事業を実施しました。

研究会	参加企業数	回数
ホットスタンプ研究会	11社（機関）	2回
人工歯根研究会	8社（機関）	1回
ナノカーボン研究会	6社（機関）	2回
ーフコスト研究会	6社（機関）	5回
水島RT研究会	9社（機関）	8回
マツダRT研究会	8社（機関）	3回
航空機材研究会	6社（機関）	1回
窒化アルミ研究会	4社（機関）	2回
多段成形研究会	7社（機関）	2回
バイオマス資源循環システム事業化研究会	9名	1回
竹資源利活用研究部会第1回研究会	26名	1回
環境ビジネスサポート研究会	19名	1回

## ③ 川上・川下ジョイントミーティング

推進・拠点機関との間で連携して実施していた各種研究会を、分野毎にグループ化し、統一感を持たせた中長期的視野に立った共同プロジェクトとして実施しました。

【RTセミナー】

日程	6月20日	参加者数	115名	場所	くにびきメッセ
概要	<p>■講演</p> <p>「日本のロボット政策と今後の展開」 経済産業省製造産業局産業機械課情報化推進係長 岩田 拓也 氏</p> <p>「ロボットテクノロジーを活用した研究開発成功のポイント」 財団法人製造科学技術センター ロボット技術推進室長 橋本安弘 氏</p> <p>■ロボット技術研究会の取組み紹介・意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しまねロボット技術研究会 島根大学生物資源科学部准教授 土肥 誠 氏</li> <li>・おかやまロボット研究会 (財)岡山県産業振興財団技術支援部 開発支援Gr C 今井靖典 氏</li> <li>・ひろしま生産技術の会 (株)ヒロテック名誉会長 鵜野俊雄 氏</li> <li>・広島県ロボット応用研究会 広島県立総合技術研究所東部工技C次長 (兼)技術支援部長 古川 昇 氏</li> <li>・とっとりロボット技術交流会 (独)鳥取県産業技術センター機械素材研究所長 柏木秀文 氏</li> <li>・山口県ロボット研究会 (財)やまぐち産業振興財団事業活動支援部 取引振興部長 田村 健 氏</li> <li>・「RooBO」 ロボットラボラトリーミッションリーダー 瀬川寿幸 氏</li> </ul>				

【びかまく研究会】

参加企業数	13社（機関）	回数	3回
-------	---------	----	----

【次世代自動車等にかかる意見交換会】

日程	3月2日	場所	ホテルセンチュリー21広島	参加者数	18名
概要	<p>■事業等紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「EU市場へのアクセス（アルザスの概要）」 「次世代自動車クラスター」 アルザス開発公社</li> <li>・「中国地域産業クラスター計画推進概要」 中国経済産業局</li> <li>・「自動車産業と電機・電子産業による新産業創造～カーエレクトロニクス化への取り組み～」 財団法人ひろしま産業振興機構</li> <li>・「(財)岡山県産業振興機構財団による次世代自動車関連の取組」 (財)岡山県産業振興機構</li> </ul> <p>■意見交換会</p>				

#### ④ システム作り

ビジネスプロモート研究会の成果を踏まえた次段階として、原料調達から、商品の製造、販売に至る入り口から出口までのトータルシステム構築を図るための研究会を実施しました。

##### 【バイオマス協議会】

日程	12月12日	場所	リーガロイヤルホテル広島	参加者数	113名
概要	<p>■総会</p> <p>■基調講演「持続可能なバイオマス利活用技術の研究開発」 (独)産業技術総合研究所バイオマス研究センター長 坂西欣也 氏</p> <p>■事例発表「廃棄食パンからの水素および燃料ガス製造事業について」 復建調査設計(株)環境技術部新エネ・資源循環課 課長補佐 井上陽仁 氏</p> <p>■事例発表「マツダ・バイオテックマテリアルの開発」 マツダ(株)技術研究所 主幹研究員 栃岡孝宏 氏</p>				

#### ⑤ 産学金ビジネスマッチング交流会

金融機関との連携による中小・ベンチャー企業の支援を目的として、サポート金融会議各県地域分科会の場を活用して、ビジネスプラン発表会を実施しました。

また、中小・ベンチャー企業の外部資金獲得、的確な販路確保、技術開発のあり方等に対する判断材料の提供を目的として、金融機関との連携により、企業が行う新商品開発、新事業展開を評価する「技術事業化評価システム」を構築しました（連携金融機関：13行）。

##### 【ビジネスプラン発表会】

地区	日程	場所
鳥取会場	3月17日	米子コンベンションセンター
島根会場	3月18日	山陰合同銀行本店
岡山会場	2月27日	ちゅうぎん駅前ビル
広島会場	12月5日	広島県銀行協会
山口会場	3月13日	山口グランドホテル

#### (5) 販路開拓支援事業

##### ① 専門展示会出展等の有効活用

クラスター参加企業の技術ポテンシャルを効果的にPR、マッチングすることを目的に、具体的なビジネスに直結する可能性の高い専門展示会の場への出展支援を実施しました。

展示会名称	日程	場所	参加企業数	来場者数	成約件数※
「機械要素技術展」	6/25～27	東京ビッグサイト	5社	87,679名	20件
「びわ湖環境ビジネスメッセ」	11/5～7	滋賀県立長浜ドーム	5社	36,270名	15件

(※商談中も含む)

##### ② 域内マッチング

企業の置かれているステージを把握し、それぞれのニーズにあった販路支援を展開しました。具体的には自動車関連企業技術マッチングとして、マツダ株式会社展示商談会時（10月22日開催）に開催しました。

③ 中国地域新技術・新工法展示商談会

中国地域5県の推進組織・拠点組織が連携し、中国地域の自動車関連部品企業を集め、自動車メーカーに対する展示商談会を実施しました。

日程	場 所	参加企業数	来場者数	成約件数※
10/22	マツダ株式会社 本社1号館講堂	40社(機関)	1,200名	17件
11/5~6	日産自動車株式会社テクニカルセンター	62社(機関)	1,000名	25件

(※商談中も含む)

(6) 情報提供事業

① 循環・環境クラスターPRパンフレットの作成

循環・環境分野の目的や現在までの取り組み、成果、今後の取り組み等をより目にふれ、理解していただくため、PRパンフレットを作成し、ユーザーや流通経路といった関係者に配布しました。

② MOTセミナー

東友会協同組合等と協力し、広島地域を中心とした自動車関連産業の経営者・開発担当者等を対象にMOTセミナーを実施しました(11回)。

7/29	場 所	日本政策投資銀行 中国支店	参加者数	32名
	概 要	1. ガイダンス・講演 「伸びる『ものづくり企業』の条件」 日本政策投資銀行 東海支店 次長 島 裕 氏		
8/22	場 所	日本政策投資銀行 中国支店	参加者数	33名
	概 要	1. 講義「付加価値創造の最大化を目指す技術経営 (MOT) ～意味的価値と組織能力のマネジメント～」 一橋大学イノベーション研究センター教授 延岡健太郎 氏		
9/ 1	場 所	日本政策投資銀行 中国支店	参加者数	34名
	概 要	1. 講義「生産管理概論」 トヨタ自動車(株)TQM 推進部 主査 平井 勝利 氏		
9/10	場 所	日本政策投資銀行 中国支店	参加者数	29名
	概 要	1. 講義 広島大学大学院 教授 井上 善海 氏		
9/25	場 所	日本政策投資銀行 中国支店	参加者数	24名
	概 要	1. 講義「品質機能展開 (QFD) による製品開発戦略 I」 東京工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科 教授 長田 洋 氏		
10/24	場 所	日本政策投資銀行 中国支店	参加者数	36名
	概 要	1. 講義「品質機能展開 (QFD) による製品開発戦略 II」 東京工業大学大学院 イノベーションマネジメント研究科 教授 長田 洋 氏		
11/13	場 所	日本政策投資銀行 中国支店	参加者数	29名



11/13	概要	1. 講義「マツダの技術開発戦略」 マツダ(株)パワートレイン開発本部 藤原清志 氏 「座学編総括」 日本政策投資銀行東海支店次長 島 裕 氏		
12/ 5	場所	日本政策投資銀行 中国支店	参加者数	19名
	概要	1. 講義「経営戦略と企業価値」 日本政策投資銀行企業戦略部課長 西田陽介 氏		
1/19	場所	日本政策投資銀行 中国支店	参加者数	15名
	概要	1. ケーススタディ・グループ発表・ディスカッション 戸田工業(株)常務執行役員 京藤倫久 氏 戸田工業(株)創造本部 片元 勉 氏 日本政策投資銀行東海支店次長 島 裕 氏		
3/12	場所	日本政策投資銀行 中国支店	参加者数	27名
	概要	1. ケーススタディ (株)北川鉄工所代表取締役社長 北川祐治 氏 (株)北川鉄工所取締役開発本部長 矢田正美 氏 日本政策投資銀行企業戦略部課長 西田陽介 氏		
3/23	場所	日本政策投資銀行 中国支店	参加者数	21名
	概要	1. 総括ディスカッション 自社企業分析 総括ディスカッション		

### ③ 木質系バイオマス利活用シンポジウム

国産材を活用したバイオマス利活用システムの構築が求められているなか、原料調達、製造、販売の各過程において様々な課題が存在しているため、有識者による最新動向や先進事例等の取組紹介、課題解決のためのパネルディスカッションを行うシンポジウムを開催し、新たなシステム構築につながる基盤作りを行いました。

日程	7月23日	場所	ホテルグランヴィア広島	参加者数	159名
概要	<p>【基調講演】「国産材の持続循環的な利用システムの構築について」 京都大学 生存圏研究所所長 教授 川井 秀一 氏</p> <p>【特別後援】「国産材を利用した地産地消の家づくり」 M I S A W A ・ international(株)代表取締役社長 三澤千代治 氏</p> <p>【パネルディスカッション】 「国産材の地産地消で地域を元気に！～バイオマスのマテリアル活用～」</p> <p>●パネリスト 京都大学 生存圏研究所所長・教授 川井秀一氏 M I S A W A ・ international(株)代表取締役社長 三澤千代治 氏 銘建工業(株)代表取締役社長 中島浩一郎 氏 アマタ(株)代表取締役社長 熊野英介 氏 環境カウンセラー 森 義信氏 中国経済産業局資源エネルギー環境部長 渡邊誠氏</p> <p>●コーディネータ 社団法人中国地域ニュービジネス協議会 クラスターマネージャー 竹内善幸</p>				

### ④ クラスタージャパン2008出展

ネットワーク事業の成果をPRするとともに、活動成果を新たな事業展開につなげることを目的

として、産業クラスター企業が出展しました。

日 程	12月2日～3日	場 所	パシフィコ横浜
参加企業数	3社	来場者数	5,491名

#### ⑤ PR冊子の作成

クラスター活動の認知度と必要性の向上を目的とし、表面処理技術をテーマとした「ぴかまぐモール」パンフレットや、あらゆる産業分野への応用が期待される金属ガラスを紹介する「金属ガラスガイドブック」を作成し、従来の研究開発事例やクラスター企業のポテンシャル紹介を実施しました。

#### ⑥ 産業クラスターパンフレット作成

具体的に予定している自動車関連の海外連携に向け、自動車関連を中心とした中国地域の産業クラスターの取組を海外へ紹介することを目的とし、中国地域における産業クラスター事業活動に係る英文パンフレットを作成しました。

## 2. 技術移転支援

### 【特許流通・活用支援事業】

中小・ベンチャー企業や大学・研究機関等の知的財産活用を支援しました。具体的には、特許流通アドバイザーが企業を訪問し、特許に関する相談業務や要件にあった企業の紹介、特許の提案、マッチングした企業間のライセンス契約についての支援を実施しました。

## 3. サービス産業支援

### 【コミュニティビジネスネットワーク構築事業】

少子高齢化や環境など様々な社会的課題をビジネスとして事業性を確保しながら自ら解決しようとする活動である「コミュニティビジネス／ソーシャルビジネス（CB／SB）」の推進に取り組み、新産業の創出や地域経済の活性化・雇用創出等に貢献するとともに、本事業で構築したネットワークを活用することで、中小企業の支援を行うことを目的とする事業です。

### 【主な実施事項】

- ・中国地域CB／SB推進協議会の創設：12月
- ・会員数：約90団体（個人を含む）
- ・フォーラムの開催：2回（広島）、参加者数計：293名
- ・地域セミナー：5回（1回／中国地域5県）、参加者数計：150名
- ・ホームページの開設等
- ・中国地域におけるCB／SBの実態およびニーズ調査：アンケート数1,900団体
- ・中国地域CB／SBサポートセンターの設置
- ・支援専門家グループの組成：中小企業診断士、税理士、司法書士、社会保険労務士、弁護士、公認会計士等21名